

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
各種お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ☎よくあるご質問、各種お手続きはこちらをご覧ください。 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。


 中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 Tel 03-6811-2970
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに最新トピックスのほか、IR情報を随時発信し、ご提供しております。



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙 100 ナチュラル 100g/m²」を使用しております。



表紙

表紙写真 「黒部峡谷 トロッコ鉄道」
富山県を流れる黒部川の上・中流域に切り立つ大峡谷。その峡谷を走るトロッコ鉄道は大正の時代、日本の電源開発における資材運搬用として敷設されたのが始まりです。
雄大な自然、新緑から紅葉までの移り行く景色を求めて、毎年多くの方が訪れます。



株主の皆様へ
「ひと・もの・心」を
大切に


 Chuetsu Pulp & Paper Co., Ltd.

経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、持続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる 働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents	経営理念	1	連結決算概要	8
	トップメッセージ	2	会社概要	9
	トピックス セルロースナノファイバーの事業展開について	5	株式の概況	10
	セグメントの概要	7		

トップメッセージ

Top Message

「中期経営計画2025」を推進し 中越パルプ工業グループの さらなる企業価値の創造を目指します。

新型コロナウイルス感染症の被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、最前線で尽力されている医療従事者の皆様に深く感謝申し上げます。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第106期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業概要についてご報告いたします。

「中期経営計画2025」について

電子化・少子高齢化に伴う紙需要の減少など製紙産業が抱える構造的問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化やカーボンニュートラル社会実現への対応など、経営を取り巻く環境の変化に的確に対応した事業活動の展開が求められます。

当社グループは「一、愛され信頼される企業に」、「二、環境と社会に貢献する企業に」、「三、向上心あふれる働き甲斐のある会社」という経営理念のもと、2030年度に目指す姿として「ビジョン2030」を定めるとともに、その実現に向けて「中期経営計画2025」をスタートします。

「中期経営計画2025」は、電子化・少子高齢化をはじめ新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化が



代表取締役社長 植松 久
うえ まつ ひさし

もたらした紙の需要減少が今後も継続することを想定し、「フォワード304」で培った経営資源の発展強化を図るとともに、「①既存事業の構造転換」、「②森林資源を活用した環境投資、環境ビジネス推進」を事業戦略の柱として取り組んでまいります。また、カーボンニュートラル社会の実現のため、事業活動によるCO₂排出量削減の新たな目標達成に向けて取り組んでまいります。

「ビジョン2030」

既存事業の発展・環境ビジネスの発展・イノベーションにより、森林資源の有効活用を通じた循環型社会の構築と持続可能な未来を実現する。

「中期経営計画2025」

① 既存事業の構造転換

1. 紙パルプ事業の生産体制再構築

- I. 高岡工場 6号抄紙機 停機
- II. 高岡工場 家庭紙マシン新設 (検討)
- III. 事業領域拡大 (パルプ事業増強他)

2. グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化

- I. 三善製紙 他社商権の譲受
- II. 文運堂 文具事業の整理

② 森林資源を活用した環境投資、環境ビジネス推進

- I. nanoforest実用化、高機能セルロースナノファイバー研究開発の加速
- II. 減プラに貢献する中越エコプロダクツ製造工場の早期稼働
- III. 新規木質バイオマス発電の検討
- IV. 既存ボイラーの燃料転換による脱石炭の実施
- V. 新規植林事業の検討

経営目標 収 益：2025年度までに営業利益40億円、ROE5%を確保する。

環 境：製造工程における化石燃料由来のCO₂排出量を2030年度までに2013年度比50%削減する。

「中期経営計画2025」の詳細は
当社ホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp/news>

営業成績について

新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息がみえないものの、ワクチン接種の促進などに伴う行動制限の緩和を受けて、今後の経済活動再開に期待が高まる状況となっております。

紙・パルプ製造事業におきましては、昨年度はコロナ禍における経済活動の停滞による需要の減退に伴い、売り上げの減少を余儀なくされましたが、感染症対策が進むなかで、後半以降は徐々に持ち直す方向に転じました。

今期に入り、緊急事態宣言が継続し、再び経済活動が制限

される環境が続きましたが、紙の需要は弱含みではあるものの回復基調で推移しました。

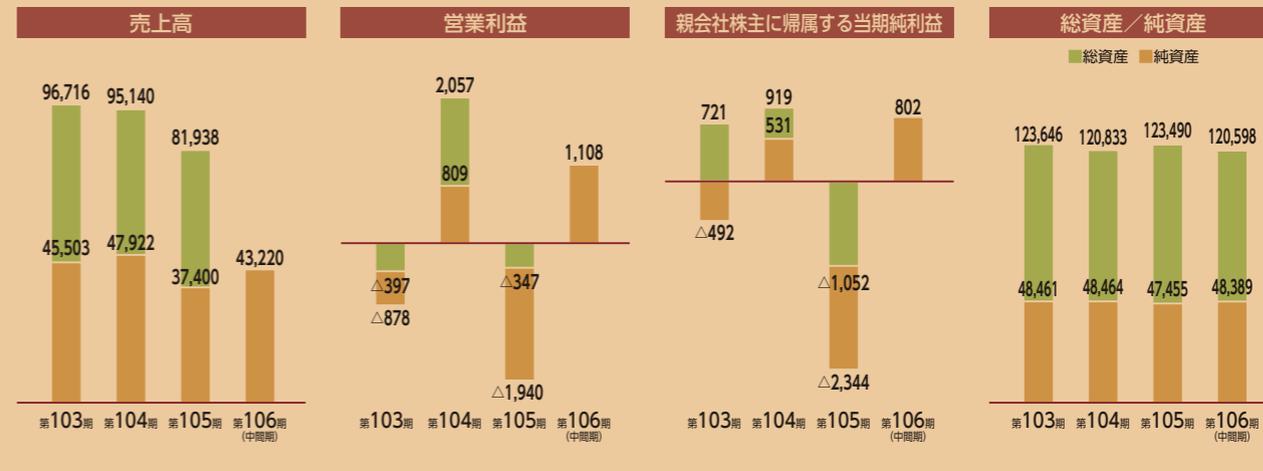
また製品パルプにつきましては、世界的にパルプ市況が回復傾向に転じるなど市場環境の改善がみられました。

このような環境のもと、国内における新規需要の開拓や、積極的な輸出版売を進め、売り上げの確保に努めてまいりました。

その他、発電事業における安定操業の継続、新規事業分野であるセルロースナノファイバー(CNF)やマップカの生産販売基盤の構築による事業化に向けての取り組みを進めてまいりました。

連結損益計算書の概要

■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



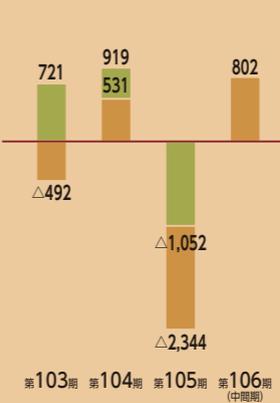
以上の結果、売上高は43,220百万円と前期に比べ15.6%の増収となりました。

収益面では、紙およびパルプの生産量増加による効率向上や、コスト削減など自助努力の効果もあり営業利益は1,108百万円と前期1,940百万円の営業損失からの黒字転換となり、経常利益、純利益ともに増益となり最終損益は802百万円(前年同期は2,344百万円の純損失)の黒字を計上することとなりました。

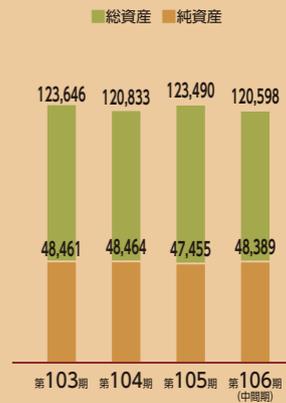
配当金について

株主の皆様への利益還元である配当金につきましては、業績動向を踏まえて昨年の中間期以降無配としておりましたが、販売促進、コスト削減の推進など収益向上に努めた結果、業績が回復に転じたことなどから、復配することといたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益



総資産 / 純資産



配当金額につきましては、景気動向が回復基調にあるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるなど不透明な状況にあることから、1株あたり20円の配当を実施したいと存じます。

株主の皆様へ

当社グループは、経営理念のもと、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)経営を推進し、サステナブル(持続可能な)社会の実現に貢献するとともに、あらゆるステークホルダーから、常に「愛され信頼される」企業であり続けることを追求してまいります。

企業価値のさらなる向上で、株主の皆様が誇れる中越パルプ工業グループを築いてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



セルロースナノファイバーの事業展開について

当社のセルロースナノファイバー（以下CNF）[nanoforest®]は水中対向衝突法によって木質繊維（パルプ）と水のみから製造するバイオマス素材です。衣・食・住など私たちの身近なものから工業や医療分野まで様々な展開が期待されています。

■ 国産ハンドメイドスニーカーに採用

パリ・ミラノコレクションに登場するなど、世界でも評価されている株式会社スピングルカンパニーのスニーカーブランド「SPINGLE MOVE」のラバーソールの添加剤に採用されました。CNF配合により耐摩耗性が従来品比較で40%向上しています。天然素材配合と耐久性向上によるロングライフ化でサステナブルな社会に貢献できる製品として、既存モデルへの展開も予定されています。



CNF採用モデル：SPM-172
写真提供：株式会社スピングルカンパニー

■ 水系アクリル系エマルジョンの添加剤に採用



CNF採用の水系アクリル系エマルジョン
写真提供：サイデン化学工業株式会社

接着剤や塗料などに幅広く利用されている、サイデン化学工業株式会社の水系アクリル系エマルジョンの添加剤に採用されました。塗料分野で利用した場合に期待されるメリットは、強度アップ、耐久性向上、塗装性向上などです。昨今、光化学スモッグの原因にもなるVOC(揮発性有機化合物)の削減等の観点から環境配慮型塗料への転換が求められており、建築業界をはじめ様々な分野への展開が期待できます。

■ 象牙に替わる^{ことつめ} 箏爪の素材に採用

^{ことし}箏柱に続き、竹由来のCNFを象牙の代替素材として「柔らかさとやさしさを持つ」サステナブルな箏爪が開発されました。箏爪とは弦をはじくため指にはめる道具で、同製品は吉崎箏派の明日佳さんや和楽器バンドの箏奏者いぶくろ聖志さんのアドバイスを心得てできたものです。

箏爪を含め邦楽器で高級素材とされる象牙は、絶滅のおそれのある野生動物の保護を目的とするワシントン条約によって国際取引が禁止されており、日本でも代替品の開発が急がれています。開発したSera Creationsでは、CNF製の三味線の駒やバチの先耳も考案中です。



CNF採用の箏爪
写真提供：Sera Creations

■ 畜産分野への展開



※写真はイメージです。

「nanoforest-S」を鶏舎の環境改善資材向けに展開します。畜舎環境の良し悪しは経済性、社会性に影響を与え、環境の維持向上が求められています。「nanoforest-S」は作業員・家畜に対して無害なサステナブル材料であり、乾燥収縮作用による鶏舎内の埃・塵・羽の飛散防止や微細繊維による不快害虫の固定化により、畜舎環境の維持向上に寄与します。11月より販売を開始し、丸紅株式会社と共同で販路を拡大し、畜産分野での普及展開を進めてまいります。

■ 化粧品原料に採用

ヘアケア、スキンケア化粧品、日用品の製造および販売・通信販売を行う、株式会社nijito（ニジト）が展開するブランド「haru」にて、2021年11月発売のボディケア製品に竹由来CNFが採用されました。ボディウォッシュ「スムーズファイバーウォッシュ」は竹由来CNFを配合することにより、よごれや角質を絡め取り、素手だけで洗うことで肌へのダメージを軽減し、つるすべ肌へと導きます。ボディミルク「スキンバリアミルク」は、ぬれたまま使用できるインバスボディミルクで、竹由来CNFが肌の乾燥を防ぐ「うるおいラップ」の役目を果たします。

化粧品分野においても近年サステナブル素材への関心が高まっており、国産のサステナブル素材として竹由来CNFのさらなる実用化を、丸紅株式会社と共同で進めてまいります。



CNF配合ボディケア製品
左：スムーズファイバーウォッシュ
右：スキンバリアミルク

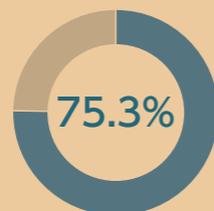
中越パルプ工業グループは「ひと・もの・心」を大切に作る企業精神のもと、再生可能な天然資源の利用推進とイノベーションを通じて、サステナブル（持続可能な）社会の実現に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です



紙・パルプ製造事業



● 連結売上高 **37,870**百万円
(前年同期比 18.7%増)

● 連結営業利益 **594**百万円
(前年同期は2,723百万円の連結営業損失)

昨年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い急速に落ち込んだ紙の需要が、緩やかな回復基調で推移するなか、既存顧客への安定供給の確保や新規需要の掘り起こし、また世界のパルプ市場の回復を受けて製品パルプの生産販売を強化したことで増収となりました。
収益面では、紙・パルプ増産による効率向上やコスト削減対策を推進したことで増益となりました。



発電事業



● 連結売上高 **3,237**百万円
(前年同期比 9.9%減)

● 連結営業利益 **435**百万円
(前年同期比 44.6%減)

安定操業とコスト削減など収益向上対策に努めましたが、紙・パルプ増産に伴い売電量が減少したことや、燃料価格が上昇したことなどの影響により、減収減益となりました。



その他の事業



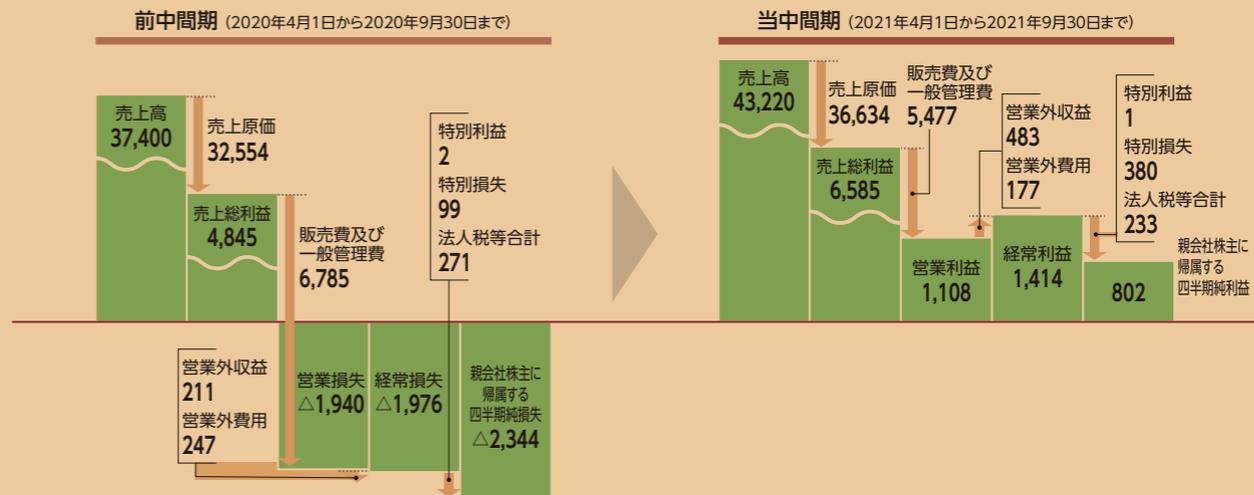
● 連結売上高 **9,221**百万円
(前年同期比 15.0%増)

● 連結営業利益 **45**百万円
(前年同期は58百万円の連結営業損失)

販売数量の増加に伴う工場稼働率の向上により、紙断裁選別包装・運送事業など紙・パルプ製造事業を補助する「その他の事業」につきましては増収・黒字転換となりました。

[注] 連結売上高には内部売上高を含みます。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

前期末 (2021年3月31日現在)	当中間期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)	当中間期末 (2021年9月30日現在)
資産合計	123,490	負債純資産合計	123,490
流動資産	53,041	負債	76,034
固定資産	70,448	純資産	47,455
		負債純資産合計	120,598
		負債	72,208
		純資産	48,389

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	前中間期 (2020年4月1日から2020年9月30日まで)	当中間期 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	282	4,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,584	△1,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,889	△3,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	559	128
現金及び現金同等物の期首残高	7,222	15,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,781	15,703

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社
 本店所在地 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号
 創業 1947年2月
 資本金 18,864百万円
 グループ従業員 1,389名
 主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・
 特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、
 竹紙等の製造ならびに販売、発電事業

役員 (2021年9月30日現在)

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
 代表取締役社長 植松 久 取締役 三浦 新
 常務取締役 福本 亮治 取締役 要堺 由隆
※監査等委員である取締役を除く各取締役は執行役員を兼務。

監査等委員である取締役
 取締役 常任監査等委員(常勤) 小林 敬
 社外取締役 監査等委員 杉島 光一
 社外取締役 監査等委員 山口 敏彦

グループ拠点 (2021年9月30日現在)

事業所

- ① 東京本社
- ② 高岡本社
- ③ 大阪営業支社
- ④ 名古屋営業所
- ⑤ 福岡営業所
- ⑥ 北陸営業所
- ⑦ 川内工場
- ⑧ 高岡工場
- ⑨ 生産本部 二塚製造部

紙・パルプ製造事業

- ⑩ 三善製紙株式会社

その他の事業

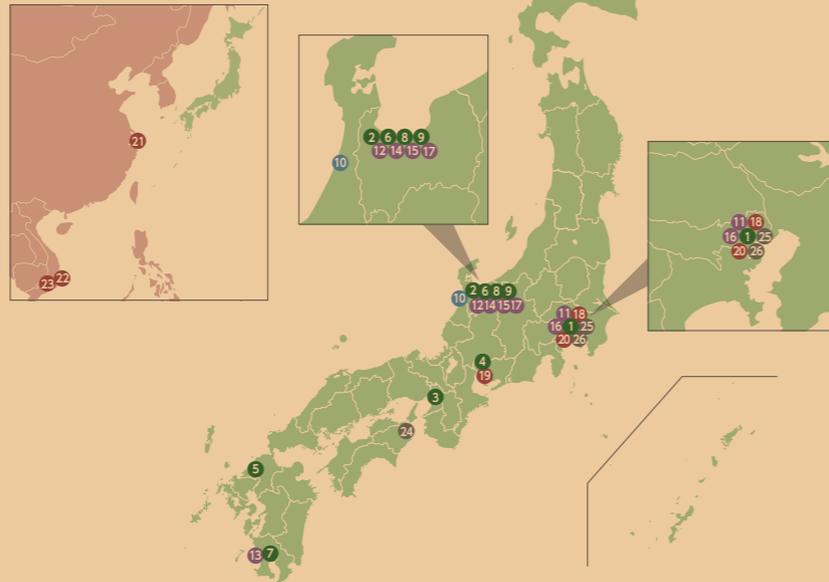
- ⑪ 株式会社文運堂
- ⑫ 中越緑化株式会社
- ⑬ 中越物産株式会社
- ⑭ 中越ロジスティクス株式会社
- ⑮ 中越テクノ株式会社
- ⑯ 共友商事株式会社
- ⑰ 中越エコプロダクツ株式会社

持分法適用関連会社

- ⑱ 中越パッケージ株式会社
- ⑲ 中部紙工株式会社
- ⑳ 王子製袋株式会社
- ㉑ 王子包装(上海)有限公司
- ㉒ Japan Paper Technology(Viet Nam)Co.,Ltd.
- ㉓ Japan Paper Technology Dong Nai(VN)Co.,Ltd.

その他関係会社

- ㉔ O&Cアイポリーボード株式会社 徳島工場
- ㉕ OCMファイバートレーディング株式会社
- ㉖ O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社



株式の状況 (2021年9月30日現在)

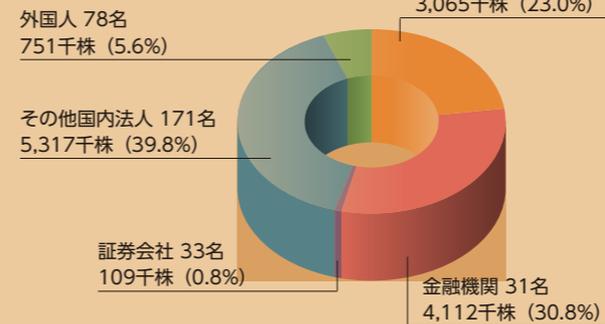
発行可能株式総数 45,000,000株
 発行済株式の総数 13,354,688株
 株主数 8,021名

大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	2,753	20.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	912	6.83
日本紙パルプ商事株式会社	710	5.32
株式会社北陸銀行	573	4.29
新生紙パルプ商事株式会社	564	4.23
国際紙パルプ商事株式会社	534	4.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	435	3.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	416	3.11
株式会社みずほ銀行	401	3.00
農林中央金庫	401	3.00

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況



第105期定時株主総会における
 議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数 6,682名
 議決権の数 133,137個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,172名	16名	2,188名
議決権行使個数	84,496個	27,702個	112,198個
行使率	63.5%	20.8%	84.3%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 定款一部変更の件	111,344個	719個	0個	99.24%

第2号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)4名選任の件

植松 久	87,837個	24,362個	0個	78.19%
福本 亮治	101,076個	11,123個	0個	89.98%
三浦 新	96,076個	16,123個	0個	85.53%
要堺 由隆	101,109個	11,090個	0個	90.01%

(注) 賛成数は、「事前行使における賛成数」と「当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数」を合計したものです。